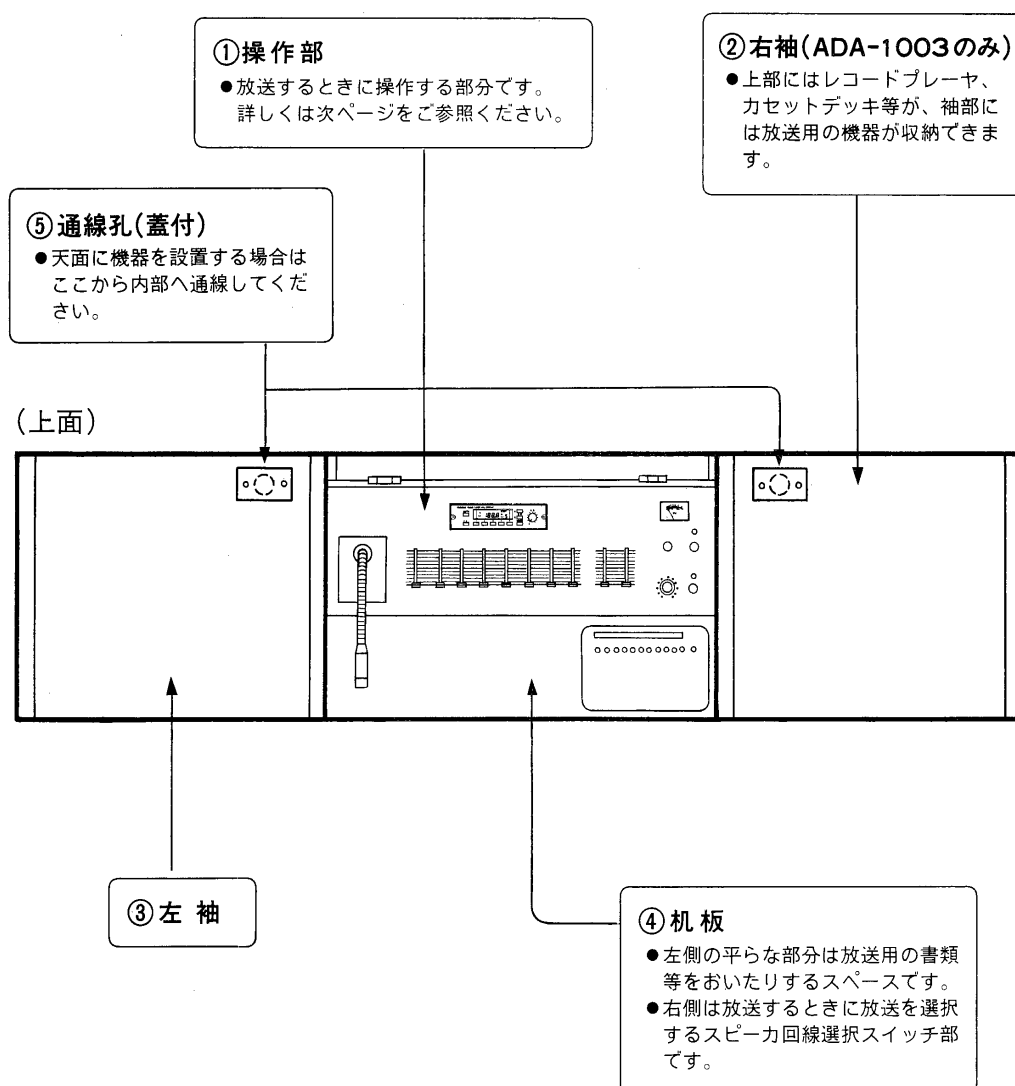
TOSHIBA　東芝1元デスクアンプ取扱説明書

対象機種	ADA-1003……1元両袖デスクアンプ ADA-1203……1元片袖デスクアンプ(左袖)

このたびは東芝1元デスクアンプをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めのデスクアンプを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

各部のなまえとはたらき

本図はADA-1003のものです。

工事店様へ 工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

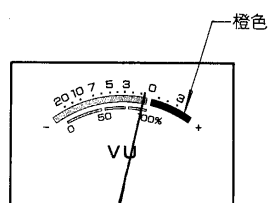
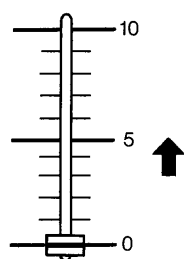
操作部、出力選択スイッチ部

使いかた

①準 備

- スピーカ回線選択スイッチは〝切〞にしておいてください。
- 次に電源スイッチ⑱を押して〝入〞にしてください。電源表示灯⑲が点灯し放送が行える状態になります。

②放送出力レベル計を見ながら音量を調節します。音はモニタスピーカで確認します。

- 主音量調節⑭を上方向にスライドし目盛５～10の間の位置にセットします。
- 各入力機器を動作させ入力音量調節つまみを上方向にスライドし、放送出力レベル計㉒の指針が音量最大で橙色の部分にふれない範囲内にセットしてください。
- このときモニタ音量調節つまみ⑰をまわしてモニタスピーカで音質を確認してください。
音質を調節する場合は音質調節つまみ㉔㉕で調節できます。

③いったん主音量調節つまみ⑭を〝0〞の位置にもどした後放送先をスピーカ回線選択スイッチ⑮または一斉スイッチ⑯で選択します。

- 選択した後主音量調節つまみを除々にあげて適切な音量にセットしてください。
放送出力レベル計が音量最大で橙色の部分にふれない範囲でご使用ください。
- 放送内容はモニタスピーカでモニタできます。

④放送が終わったら

- 音量を〝0〞の位置にもどし、スピーカ回線選択スイッチ⑮あるいは一斉スイッチ⑯は〝切〞にします。
- 次に電源スイッチ⑱を〝切〞にします。電源表示灯⑲が消えもとの状態に戻ります。

時報チャイム放送

- タイマーで設定した時刻になると自動的に電源が入り、全回線一斉に時報チャイムが放送されます。
- 時報チャイムの放送が終わると自動的に電源が切れます。
  （※別売タイマーおよびエレクトロチャイムが必要です。）

リモコン操作器からの放送

- 本体が動作中にはリモコン操作器の本体動作表示灯が点灯し、リモコン操作器側でも本体が動作状態にあることがわかります。
- リモコン操作器から放送するときはリモコン操作器の電源スイッチを〝入〞にしてください。本体の電源が入り、リモコン操作器の本体動作表示灯が点灯します。
  （1局用リモコン操作器の場合は同時に全回線一斉となり放送できます。）
- リモコン操作器側で放送先を選択してください。（5局用リモコン、10局用リモコンの場合）
  選択した回線に放送できます。
- 放送の音量は、リモコン操作器のマイク音量調節つまみで調節してください。
- 放送が終わったらリモコン操作器の選択スイッチ、電源スイッチを〝切〞にしてください。もとの状態にもどります。
  （※別売リモコン操作器AAR-100, 500, 1000とリレーボックスARB-500, ARBZ-500等が必要です。）

緊急放送

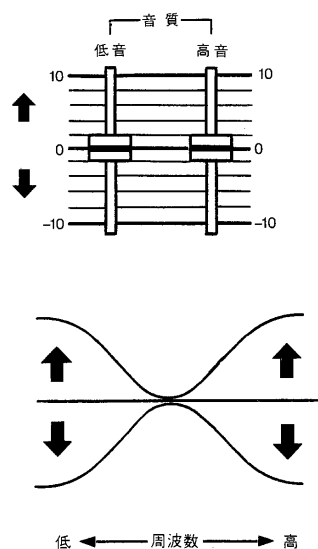
- 緊急に放送したいときは緊急スイッチ⑳を押してください。電源スイッチの入、切にかかわらず本体の電源が入り、アナウンスマイク以外の放送が断となり、緊急表示灯㉑が点灯します。
- 音量は内部で適音にプリセットされていますので、（アナウンスマイク用入力音量調節つまみはききません）そのままアナウンスマイクで放送してください。全回線一斉に放送されます。
- 放送が終わりましたら緊急スイッチを〝切〞にしてください。もとの放送にもどります。

テープレコーダによる録音時のご注意

- 放送内容をテープレコーダで録音する場合はテープ用入力音量調節つまみ⑪（テープレコーダの再生音量調節用）は〝0〞の位置にセットしてご使用ください。
- テープ入力音量調節つまみ⑪をあげたままにしておきますと、録音～再生のループができ発振の原因となり適切な録音ができませんのでご注意ください。
  （※あわせて別売テープレコーダの取扱説明書をお読みください。）

音質調節つまみ㉔㉕の使いかた

- 音質調節つまみは低音（100Hz）㉔高音（10kHz）㉕ともに中央の〝0〞の位置でフラットで、上にスライドさせると増強され、下にスライドさせると減衰します。（±10dB）
- 次の(1)(2)(3)のように使用するスピーカや部屋、用途に応じて聞きやすい音に調節してご使用ください。

(1)キンキンした音で耳ざわりなときは、高音を減衰させ低音をやや増強させると聞きやすくなります。
(2)低音がもごついてはっきり聞きとりにくいときは、低音を減少させ高音をやや増強させると聞きやすくなります。
(3)音楽をお聞きになるときは低音、高音ともやや増強させると迫力のある音になります。

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときはお使いになるのをやめ、電源スイッチ⑱あるいは緊急スイッチ⑳を〝切〞にし、お買いあげの販売店またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは機器の形名（ADA-1003またはADA-1203）およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

東芝ライテック株式会社 照明電材事業部 〒140 東京都品川区南品川2丁目2番13号（南品川JNビル）TEL (03) 5463-8779

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。